

参考資料 2

日本女子大学図書館・新規収蔵資料についての補足情報

◆ 1 当該資料

The Sin-Eater ; The Washer of the Ford and Other Legendary Moralities by Fiona Macleod ([i.e.] William Sharp), *The Works of "Fiona Macleod"*, Vol. 2 Uniform edition, (London: William Heinemann, 1912)

◆ 2 本資料の特徴

松村みね子（本名・片山廣子）の記念碑的訳業『かなしき女王』は、1作を除く全てが同書から訳出されている。本資料が実際に底本として使用された書籍の現物かどうかは、今後の研究が待たれる。

◆ 3 現時点で判明している本資料の来歴

1912年以降に、丸善で販売された（※註1）

1931～1934年頃に、英文学者の関川左木夫氏が古書店で入手（※註2）

1998年、関川氏逝去の際に節子夫人から英文学者の南條竹則氏へ譲渡される

2026年、南條氏の寄贈により日本女子大学図書館へ収蔵

（※註1）

前見返しに丸善の商標ラベルが貼付されている。後見返しには「250」と鉛筆書込みがあり、丸善売価は2円50銭だったと推定される。

（※註2）

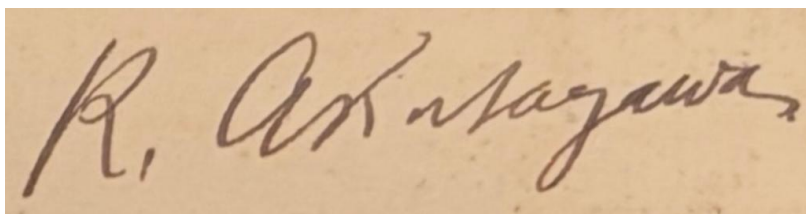
年代の推定は、関川左木夫「芥川の手沢本そのほか」（『学燈』66（1）pp.94-95、丸善、1969）の記述に、「ポケット版のフィオナ・マクラウド全集とウィリアム・シャープの選集」を「戦前早稲田大学の正門前にあった丸善の出張所に注文した」「このシャープとマクラウドの全集を注文したのは、一年後の卒論のテーマにしようとしたからであったが、この詩人を選ぶことになったそもその動機が、このマクラウド全集の一冊（the Sin-eater, the Washer of the Ford）をその前年古本で探し出したことにあった」「芥川自殺の数年後で」とあることに基づく。関川氏は早稲田大学で日夏耿之介に師事した門下生であるため、日夏の在任期間に照らして1930～1934年と推定した。

なお「芥川の手沢本そのほか」には「一円に充たぬ価格で売って呉れた」「売価は二円五十銭」とある。

◆ 4 新規の発見

今回収蔵した *The Works of "Fiona Macleod"* Vol.2 には以下の特徴がある。

① 前見返しに署名あり



※ 参考

関川佐木夫氏によって芥川龍之介の署名であることが確認されていた筆跡は以下の通り。



南條竹則氏所蔵、サロジニ・ナイドゥ『黄金の門』 Sarojini Naidu, *The Golden Threshold* (London: William Heinemann, 1914) 前見返しより。

署名確認の経緯については、南條竹則「印度歌姫の謎—サロジニ・ナイドゥと芥川龍之介」(『へるめす』No.47、岩波書店、1994、pp.10-16)を参照。

② 書込みあり

目次の8か所に鉛筆で×印の書込みがある。傍らに×印が付された作品のうち、7作は松村みね子訳『かなしき女王』の収録作に該当する。

CONTENTS	
The Titles marked * were not included in the original edition of THE SIN-EATER or of THE WASHER OF THE FORD.	
THE SIN-EATER	
PROLOGUE—FROM IONA	PAGE 1
THE SIN-EATER	17
THE NINTH WAYE	63
THE JUDGMENT O' GOD	78
THE HARPING OF CRAVETHREN	91
SILK O' THE KINE	115
*ULA AND ULLA	125
THE WASHER OF THE FORD	
PROLOGUE	141
LEGENDARY MORALITIES:	
1. THE WASHER OF THE FORD	151
2. ST. BRIDE OF THE ISLES	183
3. THE FISHER OF MEN	225
4. THE LAST SUPPER	243
5. THE DARK NAMELESS ONE	259
6. THE THREE MARVELS OF HY	273
*7. THE WOMAN WITH THE NET	301

Contents	
CATHAL OF THE WOODS	PAGE 319
SEANACHAS:	
1. THE SONG OF THE SWORD	369
2. THE FLIGHT OF THE CULDEES	382
3. MIRCATH	390
*4. THE SAD QUEEN	395
5. THE LAUGHTER OF SCATHACH THE QUEEN	403
*6. AHÈZ THE PALE	412
*7. THE KING OF YS AND DAMUT THE RED	433
BIBLIOGRAPHICAL NOTE	448

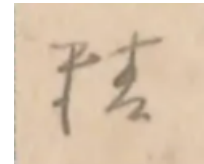
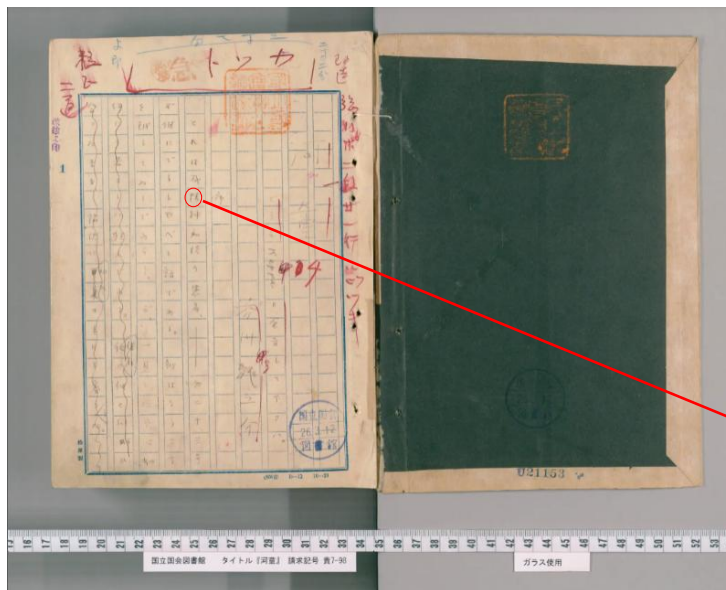
文字の書込みが2か所にあり、「琴」「精」と読める。

いずれも松村みね子訳『かなしき女王』収録作の訳題である。

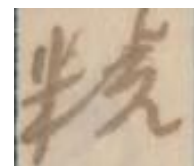
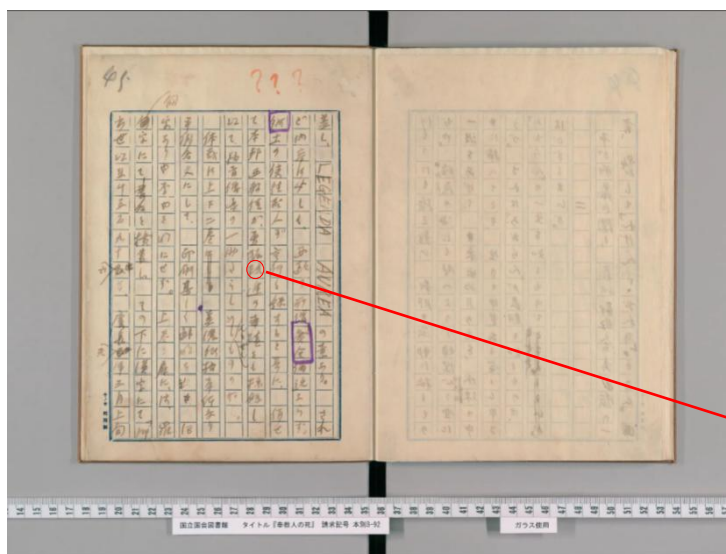
(「琴」は The Harping of Cravetheen、「精」は Cathal of the Woods の訳題)



「精」の字は、芥川龍之介直筆原稿と比較すると、特に晩年の筆跡との類似が認められる。



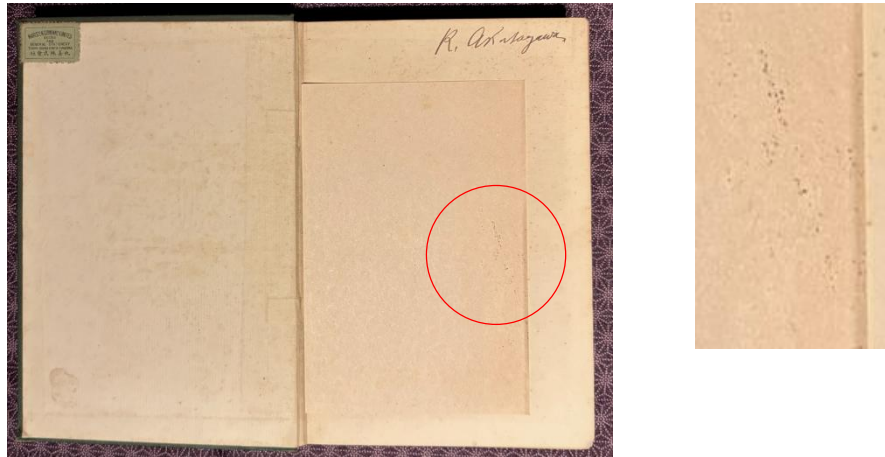
芥川龍之介『河童』、1927. 国立国会図書館デジタルコレクション
<https://dl.ndl.go.jp/pid/2541083> <https://dl.ndl.go.jp/pid/2541083/1/2> (参照 2026-10-13)



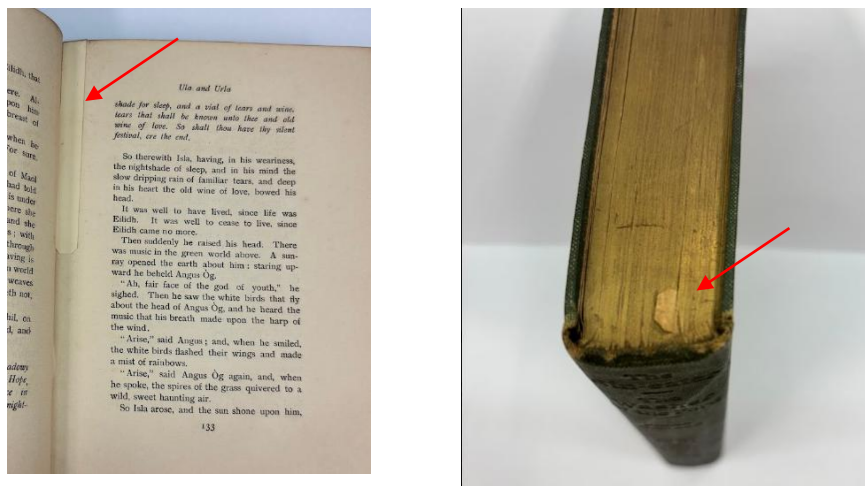
芥川龍之介『奉教人の死』1918、国立国会図書館デジタルコレクション
<https://dl.ndl.go.jp/pid/2532516> <https://dl.ndl.go.jp/pid/2532516/1/47> (参照 2026-10-13)

③ 挟み込み挿入物あり（紙片 1 点、葉 1 点）

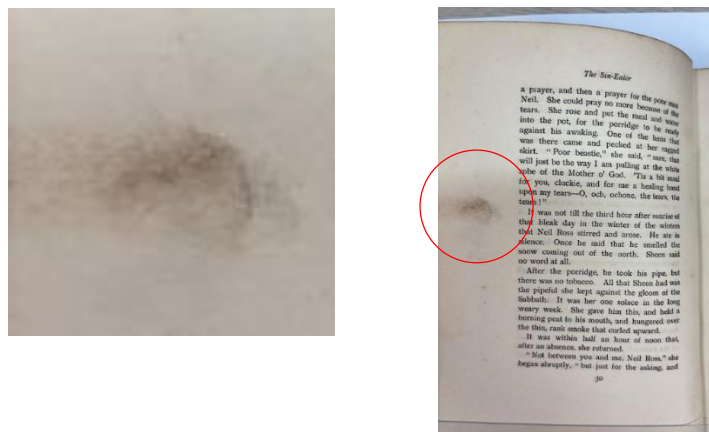
紙片は前見返しに挿入。微かにインクの付着が認められ、署名記入時にインク移りを防ぐ目的で挟んだ合紙（あいし）とみられる。



葉は Ula and Urla p.133 に挟まれており、上部は天から飛び出している。



④ 指紋状の跡あり（1 か所）



⑤ 後見返しに丸善売価の記載あり



⑥ 前見返しに丸善ラベルあり

(左は今回収蔵した第2巻のラベル、右は日本女子大学所蔵の6冊に共通するラベル)



◆ 5 今後の研究が待たれる事項

「みね子は、翻訳に使用していたこの大切な一冊を、思い出と共に芥川に贈っていたのであった」と井村君江氏は松村みね子訳『かなしき女王』「解説」(筑摩書房、2005、pp.303)に記している。

今回の収蔵品には、松村みね子訳『かなしき女王』(第一書房、1925)の訳語に相当する書込みが認められ、この書込みが芥川によるものであれば、芥川がこの第2巻をいつ、どういう経路で入手したのかが注目される。

また、日本女子大学の「松村みね子旧蔵書」と今回の収蔵品を比較すると ①前見返しに貼られたラベル ②後見返しの売価記載の有無 などの相違も認められる。

このことが何を示すのか、1冊の本をめぐる文学的ネットワークを考察する上でも今回の収蔵品は貴重な資料とみられる。

(文責・伊藤里和 2026.10.15)

[参考文献]

南條竹則「芥川のほitori」1～6 (『芥川龍之介全集』月報、岩波書店、1995～1996)

中野善夫「訳者あとがき」(フィオナ・マクラウド／ウィリアム・シャープ著／中野善夫訳

『夢のウラド F・マクラウド/W・シャープ幻想小説集』国書刊行会、2018、pp.459-477)

中野善夫「古い幻想小説を読むということ」(中野善夫著『積読の流儀』国書刊行会、2026、pp.301-338)

[本件の協力者および関係者] 順不同敬称略

南條竹則（英文学者・寄贈者）

中野善夫（日本大学）

山口俊雄（日本女子大学）

北村暁夫（日本女子大学）

濱口都紀（日本女子大学図書館）

水嶋寿恵（日本女子大学図書館）

竹中朗（国書刊行会）

伊藤里和（国書刊行会）